

平成27年度 第1回 瀬戸市地域力推進協議会 (進行・会議録)

日時：平成27年6月15日(月)19時～

場所：パルティセと4階マルチメディアルーム

- 1 開 会
- 2 委員紹介
- 3 座長挨拶
- 4 市長挨拶
- 5 論 題
 - (1) 平成27年度各地域力推進組織活動計画報告
 - (2) 平成26年度実施 リーディング地域アンケート結果報告
 - (3) 平成27年度当協議会活動計画について
 - ① 地域力推進組織の在り方
 - ② 地域力向上協働事業提案制度の検討
 - ③ ミニフォーラム開催について
 - ④ 活動指標、成果指標の検討
- 6 まとめ
- 7 その他
- 8 閉 会

【以下議題4～6の会議録】

4. 市長挨拶

- ・まち協の活動が活発な地域は地域力については様子を見ていると捉えている。
- ・地域力向上活動には進化が必要。
- ・それぞれの地域で特色ある活動をされている。
- ・地域力は今後も積極的に推進していく。
- ・各地域が行事ごとで協力してもいいのでは。

5. 論題

(1) 平成27年度各地域力推進組織活動計画報告

○兼田 元雄氏(效範連区地域力向上委員会委員長)

- ・公民館を潰すという話があったが、そうではないという話であった。
- ・地域力は地域から盛り上げていくものだと言った木村光伸先生から聞いた。
- ・西部コミュニティセンターの運営を自治会で委託を受けた。
- ・高齢者支援の事業を行っていく。婦人会を中心として。
- ・公民館の位置づけを各連区どうされているのか教えていただきたい。

○長江 正美氏(菱野地域力まちづくり協議会会長)

- ・菱野でも高齢化は事実だが元気な高齢者がたくさんいるので、現役世代と高

齢者とが協力して活動している。

・課題は、事業をするうえで会場が不足していること。交流センターが必要ではないかという声がある。

○座長 伊澤 俊泰氏（名古屋学院大学教授）

- ・公民館つぶしというのは大きな誤解である。
- ・地域力の事業は公民館活動の延長線上。公民館が培った生涯学習のノウハウは地域にとって大きな資産である。
- ・地域力は何かの団体や活動を排除するものではなく、いろいろな団体をつなげるプラットフォームである。

（２）平成２６年度実施 リーディング地域アンケート結果報告

○事務局説明

- ・アンケート結果をもとに地域の事業を考えてほしい。
- ・次回会議でご報告いただきたい。

○渡辺 良男氏（下品野地域力向上協議会副会長）

- ・質問の項目が大まかなのでそのまま受け取るのは難しいかもしれない。
- ・防災・防犯は地域住民にとって最大のテーマ。

○兼田 元雄氏（効範連区地域力向上委員会委員長）

- ・このアンケートは平成２０年からの統計か、現時点のものか。

○事務局

- ・現時点のもの。

○加藤 和守氏（瀬戸市公民館協議会会長）

- ・７年程やっているところもあるのにこの数値は低いのではないか。
- ・人口比率的にも地域力の認知度が低く感じる。

○座長 伊澤 俊泰氏（名古屋学院大学教授）

- ・行事に参加していてもそれが地域力の活動だと認知していない可能性がある。
- ・知名度アップは必要である。

（３）平成２７年度当協議会活動計画について

①地域力推進組織の在り方

○事務局説明

…質問なし。

②地域力向上協働事業提案制度の検討

○事務局説明

…異議なし。

③ミニフォーラム開催について

○小柳 監一氏（原山台地域力向上委員会事務局長）

・高齢者お助け隊のミニフォーラムを希望。どんな支援が必要なのか。どうやって活動をしているのか知りたい。

○渡辺 良男氏（下品野地域力向上協議会副会長）

・いろいろなテーマにするより、高齢者なら高齢者とテーマを一つにしぼってまず取り組んでみてはどうか。

○座長 伊澤 俊泰氏（名古屋学院大学教授）

・高齢者支援とひとくちに言っても防災などいろいろな切り口がある。

○長江 正美氏（菱野地域力まちづくり協議会会長）

・老人会に入っていない人がどんな問題を抱えているのか、など情報がプライバシーの関係などで把握できない。

・他地域ではそのような情報をどのように取り入れているか知りたい。

・菱野の高齢者は1,000人以上いるのに老人会会員は150人程。

○兼田 元雄氏（効範連区地域力向上委員会委員長）

・リーダーの後継者がいない。なるべく地域から聞き取るように取り組んでいる。

○梶浦 和成氏（新郷地域力向上委員会委員長）

・2年前から災害時弱者の対策に取り組んでいる。台帳づくり。

・600世帯が助けてほしい側。350世帯が助ける側。

・個人情報を出せない世帯は現状棚上げ。

・助ける側でお助け隊を組織する予定。

・婦人の組織が無い。他地域での婦人組織の状況が知りたい。

○副座長 落合 洋文氏（名古屋文理大学教授）

・高齢者は40%、残り60%のニーズに地域力に対応できるのか。

・アンケートでも認知度3割。若い人たちは地域力の活動に関心がない、期待していない。

・学校や子育てなど若い人にとっての切実な課題を取り上げることができるか。

・若い世代向けの事業の取り組みが必要。高齢者と繋げることも可能。

・異世代交流が必要。現状は高齢者による高齢者支援。このままでは地域力組織が高齢化し地域力が低下してしまう。

④活動指標、成果指標の検討

○事務局

- ・市長からの提案事項。
- ・地域力の“見える化”をすることで活動を見直すことができる。
- ・全地域に対して同一の指標で測ることはできない。それぞれの地域に合った指標を作ることが必要。今後事務局で検討していく。

○渡辺 良男氏（下品野地域力向上協議会副会長）

- ・ボランティア活動においては成果指標を出すことは大変難しい。活動指標の方が重要では。
- ・活動指標によるプロセス評価が必要。

○副座長 落合 洋文氏（名古屋文理大学教授）

- ・市との協働事業の進み具合はひとつの成果指標となるのでは。

○副座長 安藤 謙氏（㈱地域計画建築研究所名古屋事務所副所長）

- ・指標を達成することを目標にするのではなく、うまくいかなかったところの見直しに活用すべき。

6. まとめ

○小柳 監一氏（原山台地域力向上委員会事務局長）

- ・自主防災組織を立ち上げているが活動していない。他地域がどうやって活動しているかミニフォーラムにおいて知りたい。

○井上 勝氏（道泉地域交流センター長）

- ・横の連携がとりにくい。行政が縦割なためそれが地域にも影響している。行政がまず横の連携をとるようにしてほしい。

○副座長 安藤 謙氏（㈱地域計画建築研究所名古屋事務所副所長）

- ・ミニフォーラムのテーマとして、子育てや防災などもいい。こちらも支援していくつもり。個別相談でも。

○副座長 落合 洋文氏（名古屋文理大学教授）

- ・できるだけ多くの住民の声を吸い上げて活動していくことが大事。

○座長 伊澤 俊泰氏（名古屋学院大学教授）

- ・この協議会に若い方が来ていただけるようなテーマ設定をしていきたい。

本議事録は次回の会議で出席者の承認を得て決定稿となります。そのため、現時点では未定稿となっております。ご了承ください。